

意見検討結果一覧表

いわて県民計画(2019~2028)第2期アクションプラン「地域振興プラン(素案)」に係る意見募集

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
1	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目1	①こころと体の健康づくりの推進	健康経営優良法人に申請し取り組んでいるが、経営側の感じるメリットに比べ、従業員側の行動に結びつかないことから、優良法人取得企業や、取り組み企業への優遇(ロゴマークの使用や電力料金だけでなく、カードやアプリを見せることで飲食店の割引など)があると従業員のモチベーションが上がるのではないかと。	国が実施する健康経営優良法人制度に加え、県では、働き盛りの健康づくりを推進するため、「いわて健康経営事業所認定制度」を実施しております。取組をした事業所で一定の要件を満たすと、岩手県企業局と東北電力株式会社の協働の取組「いわて復興パワー」による電力量料金の割引が受けられるものです。いずれの制度も従業員個人への成果報酬となるものは設けておりませんが、いただいたご意見は制度の更なる普及や充実に関するご提言として今後の取組推進にあたり参考とさせていただきます。 引き続き、健康づくりのインセンティブとして市町村が実施している「健康ポイント制度」など、他機関で推進している働き盛り年代の健康支援について情報収集し、広く情報発信するよう努めていきます。	D(参考)
2	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目1	①こころと体の健康づくりの推進	メンタルやセカンドオピニオンが欲しい時の相談窓口について、取りまとめてWEB掲載したりサイト化すると社内で紹介しやすい。現状、医療保険の付加サービスなどを使っていることから、もっと利用しやすい窓口があればと感じている。	相談窓口の普及啓発については、県で自殺防止対策特設WEBサイトを令和4年9月に開設しました。悩みに応じた相談窓口、心のセルフケアの動画などダウンロード可能なコンテンツを掲載しています。企業の皆様に活用いただけるよう、取組方向に「相談しやすい環境づくり、専門相談への対応、相談窓口の周知」を盛り込み、普及啓発などに取り組むこととしております。	C(趣旨同一)
3	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目1	④安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進	政策推進プランと照らし合わせて、妊娠・出産という言葉があった方がわかりやすいのではないかと。	妊娠・出産への支援については、市町において、子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目ない支援の体制を確保することとしており、盛岡広域振興局では、同センターの運営状況を情報共有すること等により運営を支援することとしておりますが、そのことが分かるよう御意見を踏まえ、表現を変更しました。	A(全部反映)
4	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目1	④安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進	政策推進プランには、こども家庭センターの設置の促進がある。切れ目のない支援には、環境づくりだけでなく、もう少し踏み込んだ取組が必要ではないかと。	「こども家庭センター」については「子ども家庭総合支援拠点」(児童福祉)と「子育て世代包括支援センター」(母子保健)の機能を一体化した相談機関であり、改正児童福祉法において設置は、市町の努力義務とされていることから、設置の促進に向けた支援を盛り込みました。	A(全部反映)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
5	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目1	④安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進	指標の結婚サポートセンターの入会登録者数、子育てにやさしい企業認証数について、子育てしやすい環境づくりの指標としては物足りないのではないか。こども家庭支援センターの設置数などの方が十分な取組になるのではないか。	「こども家庭センター」の設置に係る改正児童福祉法行の施行は令和6年4月であり、市町では検討段階にあることから、現時点で指標化することは困難ですが、御意見を踏まえ、子育てしやすい環境づくりの指標として「子育て支援ネットワーク研修会参加者数」を追加しました。	B (一部反映)
6	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目2	②3Rと廃棄物の適正処理の推進	家庭系ごみの現状と把握の方法を教えてください。現状を踏まえて、どのような目標値を設定しようとしているのか。	家庭系ごみの現状の把握方法については、環境省が毎年実施する「一般廃棄物処理事業実態調査」による数値を用いています。また、目標値については、「循環型社会形成推進基本計画(環境省)」に定める減量目標と同様の割合を設定しています。	F (その他)
7	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目2	②3Rと廃棄物の適正処理の推進	生ごみ、プラスチックなど、ごみの種類ごとに目標値があるのか。県としての具体的方針が見えるよう、市町村と協力して見える化してほしい。	一般廃棄物については、「生活系ごみ」から資源ごみを除いた「家庭系ごみ」について目標値を定めており、種類ごとには設定していませんので、ご理解をお願いします。ごみの減量化については家庭での一層の分別、資源化が重要であることから、取組方向に「家庭系ごみ」減量化を盛り込み、市町と連携し廃棄物の発生抑制、循環利用に取り組むこととしています。	D (参考)
8	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目2	②3Rと廃棄物の適正処理の推進	「エコ協力店いわて」について、プラゴミを減らす目的が大きいと思うが、振興局の目標、認定後の働きかけはあるのか。	「エコ協力店」の設定店について、盛岡広域振興局としての目標は設定しておりません。また、設定後の働きかけも特に行っておりませんが、「エコ協力店いわて」認定制度は、プラスチックごみや食品ロス削減の推進のために重要であることから、今後も積極的に制度のPRに取り組むこととしています。	F (その他)
9	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目2	②3Rと廃棄物の適正処理の推進	エコ協力店はコンビニが増えており、今後の取組に期待できるが、エコレストランはあまり知られておらず、店舗数も伸びていないので、今後の取組に期待している。	近年、食品ロスの削減が社会的な課題となっていることから、エコレストランについても引き続き制度の周知や情報発信に努めるとともに、食べ残しなどの食品ロス削減によるごみの減量化の促進や店舗と連携した普及啓発活動に取り組んでいきます。	C (趣旨同一)
10	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目4	②地震に強い社会資本の整備	建物の耐震対策を喫緊に対応すべきであり、耐震診断・改修については、仕組みを用意しても、住民が手を上げないと進まないため、所有者への啓発を強化し、誘導結果を指標化したらいいのではないかと。	住宅の耐震化対策については、啓蒙啓発や誘導等の取組の結果として、最も明確でわかりやすい耐震診断戸数及び耐震改修戸数を指標としております。なお、ご意見の所有者への啓蒙啓発の強化については重要と考えており、今後とも市町と連携し広報等で広く周知することや戸別訪問の取組を進めてまいります。	F (その他)
11	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目4	①河川改修や砂防施設による防災安全度の向上	インフラ整備は、予算もあり一気にはできないので、方法として、できる限り年度はじめに実施すれば、安心度が増すのでお願いしたい。	インフラ整備には、御意見のとおり時間を要することから、早期に事業効果が発現され、安心が確保されるよう、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
12	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目5	②快適で魅力あふれるまちづくりの推進	景観計画に基づく取組について、盛岡市など独自の計画をもっているが、局との役割分担はどうなっているのか。	盛岡市は、中核市として景観行政を司る景観行政団体となっていますが、管内の盛岡市以外の7市町については、県が景観行政団体として景観計画に基づく取組を行っています。	F(その他)
13	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目5	②快適で魅力あふれるまちづくりの推進	市などの景観計画を策定する際には、県の関与はあるのか。	市などが景観計画を策定する際には、互いに整合性を図りながら取り組んでいます。	F(その他)
14	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目5	⑥建設業における担い手の確保・労働環境の整備	建設業の担い手確保に苦勞しており、交流会やふれあい事業など局の協力に感謝している。今後も、イベントで終わることなく、局と知恵を出しあって環境づくりを進めていきたい。	建設業における担い手確保・育成は喫緊の課題であり、建設業協会盛岡支部と連携しながら建設企業で働く技術者・技能労働者の継続的な入職・定着に今後も取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
15	県央広域振興圏	I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	重点施策項目5	⑥建設業における担い手の確保・労働環境の整備	建設業にとって、業務委託を請け負っている冬場の除雪が負担となっている。24時間体制の中、除雪に従事する職員が苦勞しているが、ライフラインを守る環境整備は企業の使命であり、続けていくためには体制が必要であることから、支援いただきたい。	除雪オペレーター育成支援として、経験年数の浅いオペレーターを対象とした操作勉強会を令和3年度から実施しているほか、除雪業務における待機に要する費用についても受注者と協議し契約変更する等の取組を進めているところであり、安定的・継続的な除雪体制を確保されるよう、今後の取組の推進にあたり参考とさせていただきます。	D(参考)
16	県央広域振興圏	II IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目6		DXが叫ばれる中で、強い効果が発揮できそうなテクノロジーのIoT、AI、データサイエンス、ビッグデータ、RPAなどの個別の中核テクノロジーのキーワードが文面に見えてこない。それらがどこまで活用されようとしているのか。	IoTやAIなどテクノロジーの活用については、建設業や製造業などでIoTやAI、RPAを導入した取組がありますが、商業やサービス業など幅広い産業分野において、それらのテクノロジーを活用した新たなデジタル・IT分野の需要が生まれていることから、現状に盛り込みました。 また、県内企業におけるデジタル化率は約5割に止まり、各産業分野におけるDXの実現に向けて更なるデジタル化を推進する必要があると認識しています。具体的取組については、地域振興プランに盛り込みました。	B(一部反映)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
17	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目6		DXのキーワードがたくさん出てきているが、その定義を分野横断的に理解した方がよい。2018年の経産省の定義がしっくりくるので、これを前提に各部局など関係者で意識して、施策に活かしてほしい。	DXの推進に当たっては、その趣旨を関係者間で理解し、施策に活かしていきます。また、ご意見を踏まえ、地域振興プランにDXの考え方を脚注に記載しました。	A(全部反映)
18	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目8		「8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくり」について、国際情勢や気候の問題からも米だけではなく、穀物に変えていった方がよいのではないかと。	国際情勢や気候変動リスクに対応した安定した食糧生産や飼料用作物の生産に取り組むことは重要であり、取組方向に「生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり」を盛り込み、水田のフル活用による米・大豆・麦、飼料用作物の生産推進に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
19	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目8		離農がかなりのスピードで進んでおり、耕作できない農地が2～3年後に一気に増え、人材育成も間に合わなくなってくると思う。バランスの取れた農業の持続的発展は相当難しくなっている。重点施策の項目の中で、草木の繁茂や害獣対策、景観配慮など耕作放棄への対応や少人数でも可能な効率的な取組を盛り込むなど、市場主義だけではなく環境維持を目的とした農業のあり方を考えてもらいたい。	草木の繁茂や害獣対策、景観配慮など耕作放棄への対応については、取組方向に「魅力ある農村づくりの推進」を盛り込み、多面的機能を有する農村資源を維持・保全活動の推進や、野生鳥獣の被害から産地を守るための地域ぐるみの野生鳥獣被害対策の取組支援を行うこととしています。 少人数でも可能な効率的な取組を盛り込むことについては、取組方向に「次世代の地域農業を担う経営体の育成」を盛り込み、作業工程の改善や働きやすい環境づくりを推進し、障がい者や高齢者などの多様な働き手の確保を関係機関と連携して取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
20	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目7	②商品の高付加価値化及び販路拡大の促進	食産業・工芸品産業の商談会に関連して、事業者まかせのプロモーションに留まらず、「県央広域圏」の魅力を編集して分かりやすく伝えていくことが必要と考えており、県央広域圏の食産業・工芸品産業のまとまったイメージPRがあってもよいのではないかと。	県央広域振興圏の食産業・工芸品産業のまとまったイメージPRについては、盛岡広域振興局では、観光等と連携した取組として、当局が推進している「酒蔵ツーリズム」の一環で実施する旅行商品化や、大都市圏で開催する観光・物産フェアの機会等を通じて、圏域ならではの食文化や工芸品の魅力を一体的に発信していくこととしております。御意見のあった視点や手法については、今後のこうした取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
21	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目10	①若年者等の就業支援と地域産業を支える人材の確保	マッチングイベントについて、すぐ申し込んでも満員で参加できないマッチングイベントも多いので、機会を多くして頂けるとありがたい。	若年者と地元企業とのマッチングについては、若年者の県内就業促進に向け、IT関連企業とのマッチング交流会や就職面談会などの取組を進めているところであり、御意見のマッチング機会の増加については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
22	県央広域振興圏	Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	重点施策項目11		(74ページ)県南広域振興局圏の計画では、35ページに港湾と内陸を結ぶ道路整備という記載があるが、県央広域振興圏においては、久慈市と盛岡を結ぶ北岩手・北三陸横断道路に関する記述がないことから、観光産業や災害対策等、地域間の連携の加速につながる本道路整備の記載を求める。	港湾と内陸部を結ぶ道路、都市間や観光地を結ぶ道路等の整備については、交通ネットワークの形成・強化を図るものであり重要であることから、取組方向に「物流・交流ネットワークの整備」を盛り込み、県央域内外との交流を促進する広域ネットワークの整備に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
23	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	①事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進	ゲートキーパーについて、自殺率は全国でトップクラス。特に働き盛りの世代が目立っている。ゲートキーパーが実際にどこに配置されるか、どう活躍するかの枠組みがない。資格的な扱いなのだろうが、研修が開催されていてもその人材が活かされていないので、一旦検証して、ネットワークの構築をしていったほうがよい。	県南地域の自殺死亡者数は、依然として全国平均を上回っており、総合的な自殺対策に向けた推進体制を図ることが重要であることから、市町や関係機関と連携し、悩みを抱えた方に早めに気づき、声をかけ、必要な支援につなげ、見守るゲートキーパーを地域、職場、学校など身近なところで養成し、ハイリスク者の早期発見、適切な支援、相談窓口の周知等、相談支援体制の充実を図るよう取り組むこととしております。御意見については、今後の取組に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
24	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	県民計画に沿って人口減少等に対応していると思うが、大企業が岩手県に入ってきており、若い人はそこに就職するということが、高齢者・保育・障がい・分野に来てくれる人材が少ないことが大きな課題。人口流入により人が増えれば、安定的に医療を受ける施設の枠組みも考えていく必要がある。中長期的に見て、県立(市立)病院のあり方や高度医療を提供できる体制を検討し、構築する必要がある。特に周産期・障がい児医療は重要であり、医師確保の部分も含めて、県の施設をどう再編していくか検討してほしい。看護師等の有資格者は奪い合いになっており、医療分野に偏在し福祉分野に少ない。福祉サービス事業者とも連携して、有資格者を有効に使えるような施策を検討してほしい。	福祉人材の確保については、人材の離職防止や定着を図ることが重要であることから、処遇改善の促進や修学資金貸付の利用促進を図ることを盛り込み、人材の定着に向けた取組を促進することとしております。県立(市立)病院のあり方や高度医療を提供できる体制については、質の高い医療提供体制を構築していくことが重要であることから、取組方向に病床機能の分化と連携や周産期医療における医療機関間の診療連携体制の充実を図ることを盛り込み、地域や職場関係機関との協議の場を通じて、地域医療の確保充実に取り組むこととしております。	C(趣旨同一)
25	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	県民計画に沿って人口減少等に対応していると思うが、大企業が岩手県に入ってきており、若い人はそこに就職するということが、高齢者・保育・障がい・分野に来てくれる人材が少ないことが大きな課題。人口流入により人が増えれば、安定的に医療を受ける施設の枠組みも考えていく必要がある。中長期的に見て、県立(市立)病院のあり方や高度医療を提供できる体制を検討し、構築する必要がある。特に周産期・障がい児医療は重要であり、医師確保の部分も含めて、県の施設をどう再編していくか検討してほしい。看護師等の有資格者は奪い合いになっており、医療分野に偏在し福祉分野に少ない。福祉サービス事業者とも連携して、有資格者を有効に使えるような施策を検討してほしい。	看護師等の確保については、県全体の大きな課題であることから、全県の枠組みとして、政策プランの取組方向に医療従事者の養成、確保を進めることを盛り込み、いわて看護職員確保定着プランに基づき、新卒者の県内就業率の向上や離職者防止、Uターンの促進などにより、看護職員の確保と定着に取り組むこととしております。	D(参考)
26	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	医療は人材確保が緊急の課題であり、特に看護師は施設に1人しかおらず高齢で退職すると次がない。医療の連携について、看護師のみならず必要。人材の育成についても大きな課題。	看護師等の確保については、県全体の大きな課題であることから、全県の枠組みとして、政策プランの取組方向に医療従事者の養成、確保を進めることを盛り込み、いわて看護職員確保定着プランに基づき、新卒者の県内就業率の向上や離職者防止、Uターンの促進などにより、看護職員の確保と定着に取り組むこととしております。	D(参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
27	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	④福祉コミュニティづくり	市町村ごとの自立支援協議会について、コロナもありなかなか集まることができていない。頼りたいところが機能していない状況が多いのではないかと危惧している。市町村ごとに動けるような体制づくりを検討していただきたい。自立支援協議会のアプローチや支援についても考えてもらえるとありがたい。	障がい者自立支援協議会については、コロナ禍により参集での開催が難しい面もありましたが、障がいがあっても自分の望む生活を送ることができるよう支援していくことが重要であることから、障がい福祉サービスの充実や適切な地域生活事業の実施に向けた取組に対し、市町が開催する自立支援協議会に参画し支援することを地域プランに盛り込み、必要な助言等を行ってまいります。	C (趣旨同一)
28	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	周産期医療について、コロナや地域に産婦人科が少ないことなど、若者が不安を感じている。病院にも市立病院は予約が必須となる。これでは子育てが難しい。保育士さん自体も子供を産める環境が必要になってくる。そういった社会整備は必要なのでその点についても検討していただきたい。女性が安心して出産できるような社会整備、病院の整備について検討していただきたい。	周産期医療については、誰もが安心して出産子育てができるような環境づくりが必要であることから、取組方向に周産期医療における医療機関間の診療連携体制の強化を図ることを盛り込み、妊娠リスクに応じた医療機関の役割分担や緊急搬送時の受入れについて、関係機関と連携のうえ取り組むこととしております。	C (趣旨同一)
29	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	医療について、周産期医療体制の充実が必要。分娩医療機関がない。岩手中部・胆江・両磐で連携体制が構築されているとはいえ、胆江両磐圏域にないことは妊婦に負担を強めている。充実に向けて取組を。	周産期医療については、誰もが安心して出産子育てができるような環境づくりが必要であることから、取組方向に周産期医療における医療機関間の診療連携体制の強化を図ることを盛り込み、妊娠リスクに応じた医療機関の役割分担や緊急搬送時の受入れについて、取り組むこととしております。	C (趣旨同一)
30	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	医療について、働き方改革が迫っており、特に県立病院が大変。夜間救急電話の時間延長をぜひ進めてほしい。少子化の影響で、若い両親が子供を心配して夜中に県立病院に連絡をするケースがあり、ますます県立病院が疲弊する。これを病院の前の段階で止められないか。	医師の時間外労働の上限規制の適用にあたり、地域の基幹病院に患者が集中し、医師等の業務負担が過重にならないようにすることが重要であることから、取組方向に症状等に応じた適切な受診に係る住民への普及啓発を盛り込み、関係市町と連携して医師等の業務過重や地域医療に対する理解促進に取り組むこととしております。 岩手県小児救急医療電話相談事業(こども救急相談電話)については、令和4年度内に対応時間の延長が図られるよう関係機関と調整のうえ、検討を行っているところです。	C (趣旨同一)
31	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	③地域医療の確保充実と医療と会議等の連携体制の推進	医療について、具体的なものが見えていない。さまざまな機関との連携については、どこを中心に機能をどう分けていくかということは、これから議論するため書けないのはわかるが、将来像が見えていない。県全体の方向性を踏まえて、県南としてどうするかが見えていない。	少子高齢化が進む中、医療・介護需要の増大や疾病構造の変化が予測され、将来の医療需要に応じた質の高い医療提供体制を構築することが重要であることから、取組方向に病床機能の分化と連携や周産期医療における医療機関間の診療連携体制の充実を図ることを盛り込み、関係機関との協議の場を通じて、地域医療の確保充実に取り組むこととしております。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
32	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	④福祉コミュニティづくり	高齢分野、認知症はほぼすべての人になる。包括支援センターも手一杯で、支援が遅くなってしまい家庭が壊れてしまう。特に 医療資源の乏しい地域ではそのまま悪化してしまう。保健士さんによる訪問看護や郵便の方の見守りなど、そのようなものを組み合わせながら、それぞれの地域に合ったような形で社会全体として整備をすすめてほしい。	認知症の人を見守り、地域で支えあうことが重要であることから、地域振興プランの新たな指標として「認知症サポーター養成数」を加えて重点化を図るほか、引き続き市町の認知症対策連絡会等に参画して関係団体・事業所と連携を取りながら、認知症の正しい知識と理解促進のための普及啓発や見守り体制の構築などの支援に取り組むこととしております。	C (趣旨同一)
33	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	県以外の主体に期待される行動	他は(市町)と記載されているが、【福祉】と【子育て】には(市町等)と記載している。市町以外の主体は何か。	ご指摘のあった点については、市町の取組であることから、表現を市町に変更しました。	A (全部反映)
34	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	⑤子育てしやすい環境の整備	周産期医療のみならず、子育て視点においては、小児科、総合診療を始めとした各専門医師を確保することが必要。見出しはあるものの、地域医療の確保について記述がない。指標についても、目に見える成果が分かるようなものにして欲しい。	医師の確保については、県全体の大きな課題であることから、全県の枠組みとして、政策プランの取組方向に医療従事者の養成、確保を進めることを盛り込み、医師養成事業による奨学金養成医師の医師不足地域への計画的な配置・派遣調整などによって、医師の地域偏在・診療科偏在の改善に取り組めます。 指標については、取組方向に掲げている項目のうち、少子高齢化に伴い需要の増加が見込まれる医療と介護の連携に向けた取組や医師の勤務時間上限規制に係る住民への普及啓発に係る取組を指標としております。 なお、医師確保に係る指標については、政策プランに全県的な対応として記載しております。	D (参考)
35	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目1	⑤子育てしやすい環境の整備	子育てに関連して、子ども家庭センターの設置、高齢者の保険と介護の一体について、国において方針が示されたため、市町村で対応をどうするか考える必要がある。 県にも指導してほしいが、小規模市町村は職員が不足しているにもかかわらず、全国画一的に設置することを求められている。 子ども家庭センターは、母子の健康・児童虐待対応などすべてに対応しなければならない。この辺をどうするのか、地域としてどうするかを明示してほしいし、事業名を入れ込んでほしい。	安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めていくことが重要であることから、政策プランに妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援体制を構築していくことを盛り込み、子ども家庭センターの市町村への設置を促進することに取り組むこととしております。 なお、地域プランにおいては、包括的ではありませんが、保育サービスの充実や子育て世代の多様なニーズに対応する市町の取組を支援することを記載しております。	D (参考)
36	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目2	①地球温暖化防止に向けた取組の支援	GXについて、再エネ、資エネにどう向き合っていくか。太陽光、地熱などにどう向き合うか。付き合い方、向き合い方について、市町村それぞれで行っている。議論の熟度を増していくことが必要。検討を進めて欲しい。	温室効果ガス排出削減のためには、再生可能エネルギーの導入促進によるエネルギーの脱炭素化が必要であり、政策推進プランの取組方向に再生可能エネルギーの導入拡大に取り組む市町村の支援を盛り込んでいます。太陽光や風力発電等の再生可能エネルギーの導入に当たっての環境配慮の基準づくり等により市町村における促進区域の設定を支援するなど、地域と共生した再生可能エネルギーの導入促進に取り組むこととしており、御意見については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
37	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目2	⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災減災対策	自然災害関係について、新たに土砂災害が発生される箇所が5668箇所発表された。指定される場所は土砂災害に発展する可能性が高く、市町村のハザードマップの改定版の市民や県民の周知はいつ頃になるのか、市町村の実情まかせたものになってしまうのか。	市町村が作成するハザードマップについては、県が行う被害想定区域の見直しや周知河川の変更等を踏まえて見直しを行っており、各世帯に対し、見直し後のハザードマップを配布することとしています。 今回、公表された箇所については区域指定に必要な基礎調査を実施し、調査結果を市町と共有するとともに、一体となって関係住民に説明を行うこととしています。	C (趣旨同一)
38	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目2	⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災減災対策	家庭に1冊ハザードマップを配ることが必要ではないか。周知の徹底は必要。それについて計画等はあるのか教えていただきたい。	市町村が作成するハザードマップについては、県が行う被害想定区域の見直しや周知河川の変更等を踏まえて見直しを行っており、各世帯に対し、見直し後のハザードマップを配布することとしています。	C (趣旨同一)
39	県南広域振興圏	I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域	重点施策項目2	⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災減災対策	防災士の活用、サポーターの活用を県南局で行ったか教えて欲しい。併せて今後の方針について教えて欲しい。養成後のスキルアップも課題なので研修が必要。	県南広域振興局管内の市町村や地域からの要請により、令和3年度は地域防災サポーターを15回派遣し、防災マップ作成研修等の支援を行っているところです。 また、令和元年度から防災士資格者を増やすことを目的に防災士養成研修を実施しているほか、令和4年度には防災人材の活用による地域防災力の一層の向上を図るため、地域防災サポータースキルアップ研修会を実施しているところです。	C (趣旨同一)
40	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目2	⑫一般国道107号の災害復旧	国道107号の開通について、秋田方面、沢内方面に行く際に、かなり迂回が必要。いつごろ、かつできるのか、目標、完成年度をある程度きめて進めていただければと思います。	国道107号の本復旧については、地滑り箇所を回避し、経済性、施工性に優れたトンネル案を採用し、令和8年度の完成を目指して、復旧工事を進めています。具体的な復旧方法を追記しました。	B (一部反映)
41	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目3	①持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援	高齢分野、認知症について、交通整備も必要。高齢者の事故にも繋がるし、岩手県では特に、買い物に行くのも大変であるため、今から準備していく必要がある。これは行政だけではなく民間も力を併せて住みやすいまちづくりを進めていけば、周産期医療問題から高齢者まで住みやすい地域になっていくのではないかなと思っている。大きな枠組みの中から実際に実現できそうなことを計画の中でやっていけるのかなと期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思う。	地域公共交通の維持・確保については重要であると認識しており、市町と連携しながら、地域の交通事情を踏まえ交通計画を策定する公共交通会議において、持続可能な公共交通ネットワークの形成に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
42	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目3	①持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援	切り口を増やしてほしい。県南のエリア内の話は細かく乗っているが、県際連携(宮城、秋田、沿岸、盛岡、県北)など、エリアを超えた連携について、項目出しをしてもらえると、県南らしい重点項目が見えてくると思う。これまでと違った進化がみられるのではないかな。	定住自立圏域構想に基づく市町村間連携のほか、隣県の市町等との広域的な連携による地域の共通課題解決への取り組みが行われており、引き続きこれらを進めていくことが重要であることから、「広域的な課題解決のため市町や県などの区域を越えて連携する取組を推進します。」に表現を変更しました。	B (一部反映)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
43	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目3	①持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援	総合計画をどう県民に伝えていくかが難しい。人口減少が一番の課題・テーマ。やることは、①減っていくことへの歯止め(ブレーキ)と②人口減少下でどう暮らすか(受け入れ)。 ①については、自然減と社会減でやることは違う。 ②については、人口減の中でも、県内のどこに住んでいても、県南であれば、県南のどこに住んでもちゃんと暮らせることが示されないといけない。	人口減少下においても安心して暮らすことができるよう、多様な主体の交流を通じたコミュニティづくりの取組への支援や持続可能な公共交通ネットワークの形成に取り組むこととしており、併せて圏域の産業を支える人材の確保・育成・定着の取組を進めることにより、活力ある地域社会の構築に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
44	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目3	③国際リニアコライダー(ILC)関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備	ILCについて、外国の方との多文化共生はどのような取組を想定しているのか？外国人とのギャップのフォローや理解を促進していくにはどういったことを考えているのか？	多文化共生社会の実現については、ILC実現を契機とした地域の国際化を見据えた取組を進めることが重要であることから、具体的な推進方針に「医療通訳や災害時の外国人支援を担う人材の育成などの受入態勢整備」や「ILC実現後の地域の発展イメージや多様な文化・生活習慣の違いについての理解促進」を盛り込んでいます。	C (趣旨同一)
45	県南広域振興圏	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	重点施策項目3	③国際リニアコライダー(ILC)関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備	ILCについて、広域的視点で記載されているが、西和賀においても、具体的姿を提示してもらい、一緒に取り組んでいけるとよい。	ILCについては、岩手県に多くの人材が定着・交流する一大プロジェクトであり、関係市町等との連携による広域的な取組を展開することが重要であることから、西和賀町を含む管内市町と共に、ILC関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備に取り組んで参ります。	C (趣旨同一)
46	県南広域振興圏	II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目4	④伝統産業の魅力発信	オープンファクトリー五感市について、五感市を巡ってくれる人がいて、イベントがきっかけで就職している人しているので、県の課題に向けて実践ができています。企業側も通年で受け入れる体制が整ってきており、これからも一緒に頑張っていきたい。観光との連携を強めて、企業収益も含めてですね、強化をいただきたい。	通年での体験受け入れ体制が整い、伝統産業の魅力を継続的に発信していくことが重要であることから、取組方向に「工房での見学・製作体験の教育旅行等のコンテンツ等としての活用」を盛り込み、観光との連携に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
47	県南広域振興圏	II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目4	④伝統産業の魅力発信	後継者の育成をやりたい気持ちはあるが、まずは仕事がないと始まらない。来年度以降からの五感市の組織(協議会含めて)について、全国から我々の技術とか製品を依頼したい企業・個人を取り込めるような施策を一緒に取り組んでもらいたい。企業が収益性を上げていって仕事が増えてく中で、人が欲しいとなっていくことが望ましい。仕事が増えた上での後継者育成がいい。	伝統産業の人材育成については、販路拡大や新商品開発に向け、研修会などの取組を進めているところであり、御意見の伝統産業と発注者とのマッチングについては、今後の研修会開催内容の検討にあたり参考とさせていただきます。	D (参考)
48	県南広域振興圏	II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	人口減少について、自然減、社会減の両方ある。日本人だけでは無理であり、外国人が入ることも含めて考える必要。言葉、車の運転などの環境整備が必要。	外国人が暮らしやすい環境づくりについては、重点施策項目3③「国際リニアコライダー(ILC)関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備」において、受入れ環境の整備を図ることとしています。	C (趣旨同一)
49	県南広域振興圏	II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	建設業の人材確保について、希望者が少なくなかなか入職者が減少している。いわて産業人材奨学金返還支援制度が始まっており、登録している会社がまだ64社ということで、企業向けによりPRしてほしい。参加している会社が増えることが望ましい。良い資源となるので検討していただきたい。	御意見のありました「いわて産業人材奨学金返還制度」の企業向けPRについては、就業支援員等の企業訪問などの機会を活用し、他の支援制度や認証制度等の啓発活動と併せて取り組むこととしています。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
50	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	女性が働きやすい環境を整えることが重要。若い女性は都市部に進学・就職し、戻ってこない。何らかの形で地域の魅力を発信しながら人口減少対策を進めていくことが必要。子育て環境を整備することで人口減少対策を進めている自治体もあるので、このことにも配慮を	女性が働きやすい環境を整えることは重要であることから、重点施策項目5①「人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上」において、支援制度や認証制度等の啓発活動を通じて、仕事と子育て、介護等との両立など、働きやすい環境づくりに取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
51	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	女性の雇用拡大について、人口減少対策において、女性人口の流出も課題。女性の雇用の場の確保が必要。北上川流域においては、ものづくり産業・物流などの集積があるが、女性の働く場を確保しなければ、結婚数、出産数の拡大につながらない。女性に関する記述も計画に載せてほしい。	女性の働く場の確保のためには、女性が働きやすい環境を整えることが重要であることから、重点施策項目5①「人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上」において、支援制度や認証制度等の啓発活動を通じて、仕事と子育て、介護等との両立など、働きやすい環境づくりに取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
52	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	県南局はメリハリをつけて、各市町の強みを生かした取組を進めていることを横展開することで進めてほしい。少子化が進んで時間がない。実践の段階。特に人口減少については、自治体・企業が取組が行われていることから、それらを展開する必要がある。民間企業では方策が実践ステージに入っている。人口減少対策は、実践レベルの取組がたくさん出てこないといけない。	人口減少に伴う人材不足については重要な課題であり、重点施策項目5①「人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上」において、管内市町と人材確保に向けた具体的な取組や課題に関し情報共有を図りながら、若者の地元定着やU・Iターンの取組を管内全域で進めていくこととしています。	C (趣旨同一)
53	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	②若者の職業意識、地元志向の醸成	就職支援について、就職支援のサポートをしているが、地元に残って仕事をするという学生が多くなってきている。しかし、地元に残る希望を持っていても、地元で希望する仕事がないため、大手企業に行ってしまう。今の高校生は、給料というより自分の生活時間や働く環境を重視している。人口が少なくなって子供が少なくなっているのが大きな問題。取り合いになってきている。(就職しても)その後生じる離職率の問題もある。外国からの労働者を増やしていくしかないのではないかと。	地元志向の醸成を図るため、高校生等の就職希望者に対する企業情報ガイダンスを実施するとともに、進学希望者に対しては将来のUターンに繋げるための「社会人セミナー」を実施することとしています。 また、管内新規高卒者の離職防止のために、就業支援員やキャリア教育コーディネーターの訪問活動等により職場定着を支援する取組を進めることとしています。 外国人の雇用については、今後の人材確保の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	C (趣旨同一)
54	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	②若者の職業意識、地元志向の醸成	学生は仕事に前向き。地元の企業の良いところを伝えるなど、学校において選択肢を広げていくことも必要。	管内就職を促進するため、高校生の就職希望者に対して、地元で多様な企業があることを知ってもらうための企業情報ガイダンスの実施や、「いわて県南広域企業ガイド」などを活用しながら、地域企業の情報発信に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
55	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	③人材確保のためのU・Iターンの促進	人材育成について、キオクシア、遠野のサプライヤー構想、単独自治体では人材確保が困難になっている。広域的な人材確保が県南の課題。新規高卒者も減っている。人数自体も減っていることも地元定着の課題。 円安の影響もあり、海外に労働力確保を求めているが、外国人労働者確保のハードルも高くなっている。外国人労働者が暮らしやすい環境づくりにしても施策として触れてほしい。	新規高卒者が減少する中、産業を支える人材の確保のためには、県外からの就職希望者に向けた広域での取組が重要であることから、取組方向に「人材確保のためのU・Iターンの促進」を盛り込み、市町及び関係機関等と連携してU・Iターンの促進と産業人材の定着をサポートする体制整備に取り組むこととしています。 また、外国人が暮らしやすい環境づくりについては、重点施策項目3③「国際リニアコライダー(ILC)関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備」においても受入れ環境の整備を図ることとしています。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
56	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5	③人材確保のためのU・Iターンの促進	スキルアップ、転職いずれの方向性もある。転職を志向する人については、地元を知ってもらい、地元で転職する環境整備が必要。	転職を志向する人についても、市町等と連携した移住相談会等を通じて圏域の就業環境や生活環境等の魅力を発信することや、相談開始後のケアを継続することにより、U・Iターンを促進する取組を推進するほか、産業人材の圏域定着をサポートする体制の整備に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
57	県南広域振興圏	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域	重点施策項目5		(37ページ)産業集積を更に推進するに当たっては、人材確保と併せて、国道4号拡幅など産業の基盤となるインフラ整備も両輪で進める必要があると考える。民間企業との連携が重要であり、産業界へのアピールも含めて、インフラ整備に関する文言を盛り込んでいただきたい。	産業集積を更に推進するに当たっては、人材確保と併せてインフラ整備も重要です。御意見のインフラ整備の推進については、前章「4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます。」において、「産業を振興する道路整備の推進」として取り組むこととしております。	C (趣旨同一)
58	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	③地域と連携したスポーツツーリズムの振興	知名度がある人が来ると反響が大きい。岩手には立派なスポーツ会場があるので、大きな大会を誘致してほしい。シャワールームがないなど施設が不十分で大会ができないのはもったいないので整備してほしい。	スポーツ大会の誘致については、地域と連携したスポーツツーリズムの振興に向け、多様なスポーツ資源を活用した交流人口の更なる拡大を図るため、市町と連携してスポーツによる魅力づくりを推進していくこととしていくところであり、御意見については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
59	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	③地域と連携したスポーツツーリズムの振興	マラソンなどの催しの際に、せっかく来た方にイベントに付随する情報が一括して伝えられるよう検索できる総合案内機能を持ったコーナーがあってもいいのではないかと。	スポーツを契機に訪れた方に対する地域情報の提供については、地域と連携したスポーツツーリズムの振興に向け、多様なスポーツ資源やアクティビティを国内外に発信し、人的・経済的な交流を支援していくこととしていくところであり、御意見については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
60	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	③地域と連携したスポーツツーリズムの振興	スポーツについて、サッカーや野球のいい女子選手は地域にいっぱいいるが、東京・仙台などに高校から行ってしまふ。部活動に対するコーチの確保が地元定着にとって重要。	高校の部活動のコーチの確保については、県教育委員会及び文化スポーツ部において、適切な部活動の推進やスポーツ活動を支える指導者等の養成に取り組むこととしていくところであり、御意見については、県教育委員会や文化スポーツ部との連携した取組の推進にあたり、参考とさせていただきます。	D (参考)
61	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	③地域と連携したスポーツツーリズムの振興	レジェンドランナーについて、関連する企画で座禅会を開催した。スポーツと文化がつながる機会となった。スポーツツーリズムは大きな視野でとらえると、スポーツ・文化・食の連携は大切。レジェンドランナーは今年が最終ということだが、スポーツは起爆剤になるので今後も尽力してほしい。	スポーツツーリズムの推進については、多様なスポーツ資源を活用した交流人口の更なる拡大を図るため、市町と連携してスポーツによる魅力づくりを推進していくこととしていくところであり、御意見については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
62	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進	コロナ禍で、食産業や伝統が回らなくなっている中で、平泉の価値は高い。再来年金色堂建立900年、その後、平泉世界遺産登録15周年など節目の年がくるので、県南広域振興局とも連携してお客様を呼べるように取り組んでいきたい。コロナ前と比べるとまだまだ観光客は少ないので、魅力のある観光地が力を入れていかなければならない。	今後も世界遺産「平泉の文化遺産」の普遍的な価値と知名度を生かし、「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進という方向性を重視していくことから、本文に「平泉の文化遺産」の普遍的な価値と知名度を生かしていくことの記載を盛り込みました。	B (一部反映)
63	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目6	①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進	観光は面の取組とする必要がある。点と点では遠い。遠いと感じさせない取組が必要。	面の取組とするには、隣接圏域や県際地域を含め、広域で市町、団体、事業者と連携しながら取組を進めていくことが重要であることから、取組方向に「広域での周遊の促進」の記載を盛り込み、取組を推進することとしています。	C (趣旨同一)
64	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目7	②国内外への取引拡大の推進	海外市場は重要だが、八幡平のハロウインターナショナルスクール安比の先生方の間で「よい」と評価を受けたら同じところから何度も買うという事例があった。県南地域もたくさんの資源があるので外国人や富裕層への情報発信が大事。	県内在住の外国人や富裕層等への情報発信については、地域食材などの販路拡大のために重要な手法と認識していることから、食関連事業者が連携し、富裕層を含む国内外の観光客や誘致企業の関係人口等に向け、地域食材等の魅力を情報発信することを盛り込みました。	B (一部反映)
65	県南広域振興圏	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域	重点施策項目7	③「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進	食産業は今、電気料金、資材高騰、人材確保など様々な問題を抱えている。食のネットワークの専門家派遣については、海外進出のパッケージデザインが重要で、外部からの意見が大切。	地域振興プランでは、企業力向上の支援として、様々なご要望に応じて専門家を派遣することとしております。海外進出のパッケージデザインについても、マーケティング支援として経営者と共に課題解決していくこととしております。	C (趣旨同一)
66	県南広域振興圏	Ⅳ 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	①産地をけん引する企業の経営体の育成	当地域では、地域の将来を見据えた座談会を行っており、その中で女性や外国人に活躍してもらおうなどの意見や、土地条件として効率が悪い水田の原野化にまで議論が及んでおり、このままでは本当にあと数年で農地を維持管理できなくなる現実が迫ってきている。そういう意味で、地域マスタープランの作成は非常に重要であるが、これが絵に描いた餅状態にならないよう、地域の農家どうしが合意形成を図っていく過程に何らかの支援があるといい。単なる情報提供だけでなく、膝を交えた地域の話し合いの場に来てもらうなど、現場の農業の現状に合ったマスタープランの作成に力添えをお願いしたい。	地域農業マスタープランについては、県南圏域の162プランが実質化済みであり、プランの実践に向けて、関係機関で構成する各地方推進会議を中心に、ほ場整備事業等による生産基盤強化などを支援しています。「地域の話し合いの場への参加」につきましても従来より行っておりますことから、御意見を参考とさせていただきます、引き続き、取組を推進してまいります。	C (趣旨同一)
67	県南広域振興圏	Ⅳ 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	①産地をけん引する企業の経営体の育成	農業分野において全体的に、「食料自給率」「食の安全」「SDG's」「自然エネルギー」などの、国や地球規模で取り組まなければならない課題への言及が弱いと感じる。地域の課題と捉えて取り組んでも良いのではないか。	「食の安全」「SDG's」については、安全・安心な産地づくりと耕畜連携の推進等による持続可能な農業生産に向け、国際水準GAPの実施の推進や農業者や団体における第三者認証GAPの取得、たい肥センター等の外部支援組織の強化と有効利用などの取組を進めているところです。御意見の地球規模の課題については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
68	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	①産地をけん引する企業の経営体の育成	新規就農を希望する方々のマッチングの機会である農業会議が主催する「新農業人フェア」がいつも盛岡開催となっている。各地域で開催しても良いのではないかな。	「新農業人フェア」については、農業会議が主催しているものであり、新規就農者の確保に向けて、県南圏域からも出展しているところです。御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり主催者に情報提供させていただきます。	C (趣旨同一)
69	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	①産地をけん引する企業の経営体の育成	スマート農業への取組みは、県内の市町村ごとに格差があるように感じる。地域特性のこともあってのこととは思いますが、各地域にあった機械の開発がなされるべきで、県として地域差が生まれまい各地での指導を求めたい。	スマート農業への取組みについては、生産性向上と経営の維持・発展に向け、地域の状況に応じたスマート農業技術の活用とデータ駆動型農業の普及、農業DXの推進などの取組を進めることとしており、御意見の「市町村ごとの格差防止」については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
70	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	①産地をけん引する企業の経営体の育成	6次産業の定義をはっきりとすべき。一つの農家がすべて行うことは無理がある。それぞれの得意分野があることから、複数の企業が集まった共同体ができる環境になればよい。	「6次産業化」は、生産物の価値を上げるため、農林漁業者が生産(1次産業)だけでなく食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)も取り込むことにより、所得の向上と農林水産業の活性化につなげていくものです。今後は、6次産業化を進展させ、地域の文化や景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、地元企業など多様な主体の参加により新たな付加価値を創造していく「農山漁村発イノベーション」の取組を進めていくこととしており、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
71	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	②競争力の高い米産地の育成	今では、農業だけ人手の確保ができるようになるとは考えにくく、今後はより一層、機械化による省力化に取り組む必要があり、そのような技術開発を望む。今回の計画の中に、中山間地域で使える機械の技術開発が組み込まれたことにとっても期待する。加えて、水田の畑地転換のための土壌改良や技術開発もより一層進めてほしい。	水田の畑地転換のための土壌改良や技術開発については、土地利用型作物の導入による農家の所得確保のために重要であることから、取組方向に「水田への作付転換の促進」を盛り込み、加工・業務用野菜の契約栽培などによる園芸品目等の導入やその生産性向上支援を行い、水田の畑地転換のための土壌改良に引き続き取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
72	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	②競争力の高い米産地の育成	農業について、金色の風について、銀河のしずくに比較すると、評価を聞くことができていない。特Aをとれない。おいしくするための研究・工夫をすべき。ずっと金色の風で持っていくのなら、それなりに考えなければならぬのでは。旗を振るのはいいが、地元も疑問を持っている方がいる。具体的な施策の中で検討いただきたい。	金色の風については、更なるブランド力強化に向け、栽培研究会を中心とした高品質・良食味米の生産体制の充実や米小売業者や飲食店等との連携による取引拡大等を支援しているところであり、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
73	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	②競争力の高い米産地の育成 ③園芸産地の生産構造の強化	方策については以前からであるが、中山間地農業に関する言及が少ない。米の産地や良食味米の取組みも、中山間では適地にはなり得ないので、そのような地域の取組みの課題や方向性をもう少し具体化してほしい。	中山間地農業について、近年、中山間地域において栽培可能な「銀河のしずく」等の栽培が進んでおり、今後も引き続き生産体制の充実に向けた取組を支援してまいります。また、地域の特性に応じたスマート農業技術の導入等による省力化技術定着や安定生産技術の普及、農山漁村発イノベーションの取組を支援することとしており、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
74	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	②競争力の高い米産地の育成 ⑤安全・安心の産地づくりと農畜産物の高付加価値化・ブランド化の促進	農業については、施策は単純化して進めることが必要。米は大規模化してDX、中山間地は小規模で高付加価値化など、単純化して具体的支援を行うことが必要ではないか。	地域特性に応じて、収益性が高く競争力のある産地形成に向けて、水田の大区画化等や大規模機械化体系の確立、スマート農業技術の導入等による水田農業の更なる低コスト化、6次産業化等の取組を進めているところであり、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
75	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	③園芸産地の生産構造の強化	農福連携に対する支援を手厚くできないか。人材確保や地域の関わりの機会の増大など、あらゆる面で良い波及効果が期待できると思うので検討願いたい。	農福連携については、労働力の安定確保に向けて、障がい者にとどまらず、幅広い分野との連携を進めているところであり、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
76	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	⑥協働・連携による農村地域の保全・活性化	鳥獣害対策は、個体数管理というレベルを超えていると感じる。地域人口より鹿の方が多くなっている現状では、管理ではなく駆除にもっと力を入れるべきではないか。	鳥獣害対策については、農林業等被害が増加しており、県ではシカの捕獲目標数の見直しやツキノワグマの捕獲上限数の引上げ等を行っております。 野生鳥獣による農林業被害や人身被害を抑制するため、鳥獣保護管理事業計画に基づき、モニタリング調査や被害防止対策など、鳥獣の計画的な個体数管理、有害鳥獣を寄せつけないための地域全体での環境整備や、地元住民と猟友会の連携による効果的な駆除など、地域が主体となった総合的な鳥獣被害防止対策を進めているところであり、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	C(趣旨同一)
77	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	⑥協働・連携による農村地域の保全・活性化	国の財源が厳しいのか、財源の振り分けの対象の重さが他に行っているのか、農業に対する交付金が減少の一途をたどっており、使える交付金(多面・中山間)の要件がどんどん厳しくなっている、高齢化で事務の煩雑化に対応できない中山間地の状況への配慮を含め、本当に困っているところに使える柔軟さを持たせていただきたい。	「中山間地域等直接支払制度」は、中山間地域で適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、交付金により生産条件の不利を補正するための支援を行うものであり、県土の約8割が中山間地域である本県では、極めて重要な施策であると認識しております。 また、第5期対策から新設された集落機能強化加算は、高齢化や担い手不足といった課題に対する前向きな取組への支援を行うものであり、県では、こうした制度の周知を図り活用を促すなど、市町村等と連携し、中山間地域の農業の維持・発展や集落の活性化に向けて取り組んでいるところです。 本制度の維持及び予算の確保については、6月に農林水産省に対して、「日本型直接支払制度の十分な予算措置」等を要望したところであり、今後も、様々な機会をとらえ、国に働きかけてまいります。	D(参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
78	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目9	⑥協働・連携による農村地域の保全・活性化	農林畜産業、特にシカ対策について、シカに対する効果的な取り組みが行われていない。広域的な捕獲・駆除対策が計画の中に前面に出てきてほしい。	鳥獣害対策については、農林業等被害が増加しており、県ではシカの捕獲目標数の見直しやツキノワグマの捕獲上限数の引上げ等を行っております。 野生鳥獣による農林業被害や人身被害を抑制するため、鳥獣保護管理事業計画に基づき、モニタリング調査や被害防止対策など、鳥獣の計画的な個体数管理、有害鳥獣を寄せつけないための地域全体での環境整備や、地元住民と猟友会の連携による効果的な駆除など、地域が主体となった総合的な鳥獣被害防止対策を進めているところであり、御意見の内容については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	C (趣旨同一)
79	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目10	①森林・林業の理解促進や魅力の発信	林業経営体では、ほとんどの事業体で若い人が辞めていく。理由はよくわからない。5年くらい勉強して自分で独立していくようだ。どういう理由で辞めていくか調査してほしい。または、調査の方法を教えてください。	現在、早期に離職する事例が散見されていることは把握しているところ。林業の担い手確保については新規参入者の定着支援が重要であることから、定着を図るための研修・交流会の開催に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
80	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目10	③森林の適切な保全管理と木材の安定供給による森林資源の循環利用	林業について、木を育てることまでのものが多い。製材所も含め、川上から川下をどうするのか。	県産木材の安定供給に当たっては、製材所等木材加工事業者との情報共有に努めながら、市場ニーズに対応する品質・性能が確かで付加価値の高い製品が供給できるよう事業者を支援して参ります。 また、林地残材等の未利用資源の有効活用なども一体的に進めることで、川上から川下に至る関係者に利益が還元できる木材のカスケード利用を促進して参ります。	C (趣旨同一)
81	県南広域振興圏	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域	重点施策項目10	③森林の適切な保全管理と木材の安定供給による森林資源の循環利用	森林環境譲与税について、それぞれの地域・地域の目線でやっているが、全体を見たメニュー化を行ってほしい。	森林譲与税については、森林の適正な維持管理・発展に向け、県では市町村の業務支援の取組を進めているところであり、御意見の全体を見たメニュー化については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
82	沿岸広域振興圏	I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域	重点施策項目1	②東日本大震災津波の旧君の伝承と情報発信	各地の震災ガイドの交流促進や育成・支援が掲げられているが、「育成」というところでどのようなことをしていくのか。ガイドが高齢化しているところもあり、地域でのガイドを募集しないといけない。震災ガイドは、なりわいとしては難しいのでどう支援していくかが課題。	東日本大震災津波の経験や教訓については、地域防災に生かしながら次世代に伝承することが重要であることから、取組方向に「震災ガイドの交流促進や育成支援」を盛り込み、市町村や関係機関と連携しながら各地の震災語り部ガイドの意見交換会等の開催を通じてガイド等の育成支援に取り組むとともに、震災学習を核とした教育旅行や震災伝承施設の活用等による復興ツーリズムなどにより誘客に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
83	沿岸広域振興圏	I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域	重点施策項目2	②洪水・土砂災害対策や津波災害対策の推進	先般の台風の被害で山の津波も大変なものと感じ。今、砂防ダムや急傾斜地崩壊対策工事が盛んに行われており、感謝する。	引き続き、土砂災害に備え、避難所、社会福祉施設、学校、病院などが立地する箇所や過去に被災したことのある箇所、砂防ダムや急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
84	沿岸広域振興圏	I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域	重点施策項目2	③「自助・共助・公助」を組み合わせた防災・減災対策の推進	一時的に避難できる場所が設けられているが、とても行けるようなところでない箇所、夜間・荒天時や高齢者が行くことが困難ではないかと思われるところがある。そういうところの整備に力を入れてもらえれば。	一時的な避難場所となる指定緊急避難場所については、市町村において地域の実情に応じて指定しているところですが、御提言の内容を市町村と共有するとともに、災害時に住民が迅速に避難できるよう、県としても地域防災サポーターの派遣や市町村の防災会議への参画等の取組を通じて、市町村の避難体制の整備を支援していきます。	D(参考)
85	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目3	①被災地の健康づくりとこころのケア	震災から10年以上たつが、こころのケア、ゲートキーパーや傾聴ボランティアの活動は大事。11年たって初めて語る人もいる。こころの復興が大切だと思っており、人の話を聞いてあげられる環境をつくってほしい。	こころのケアについては、時間の経過とともに複雑化、多様化すると言われ、身体的な健康度によっても大きく変化するため、継続的な支援を行うことが重要であり、こころに、不安やストレスを抱えたり、孤立感などを感じている被災者に対して、岩手県こころのケアセンターやいわてこどもケアセンターと連携し、心のケアを行います。また、傾聴ボランティアなどの育成を通じて、被災者のこころに寄り添う取組を支援します。	C(趣旨同一)
86	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目3	②コミュニティの維持・活性化に向けた取組の推進	交通機関がかなり減っている。国道しかバスが通ってなく、本数も少ない。街に出かけられる、買い物に出かけられることは高齢者がいきいきとした生活につながっていくことから検討していただければ。	住民の日常生活を支える交通手段の確保・維持については、高齢者などの買い物や通院、住民が交流の場へ出かけるための移動手段として重要であることから、取組方向に「交通手段の確保・維持」を盛り込み、地域公共交通会議への参画などを通じ、市町村による地域公共交通確保の取組を支援していくこととしています。	C(趣旨同一)
87	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目5	①自然環境の保全と活用の推進	三陸ジオパークの保全活動を進めるとあるが、具体的にはどのように進めるのか。	三陸ジオパークの保全活動については、具体的取組として、地域の環境保全団体への三陸ジオパークを活用した環境学習活動の委託や、地域や団体等と連携したジオサイト等の清掃活動等を実施し、これらの取組を通じて三陸ジオパークを含む自然環境の保全と活用を推進します。	F(その他)
88	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目6	①結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援の推進	結婚支援は街コンなどで支援いただいていたと思うが、募集してもなかなか来ない話を聞く。街コン以外で何か考えているか。	結婚支援は、県として少子化対策の一環として重要な取り組みと考えていますが、企業等で結婚しやすい環境を整えれば、仕事も子育てもしやすい環境づくりにも繋がることから、企業等と連携し、職域を通じた情報の提供などの取組を盛り込みました。	B(一部反映)
89	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目6	②高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進	お年寄りの引きこもりが深刻と感ずることがある。何かもう少し対策ができれば。	お年寄りの引きこもりについて、高齢者が健康で文化・スポーツ活動などの生きがいづくりに取り組むことができるよう、通いの場の周知など、社会参加活動を通じた住民主体の健康づくりや介護予防の取組等を推進します。	C(趣旨同一)
90	沿岸広域振興圏	II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目7	③こころのケア対策などによる自殺対策の推進	傾聴ボランティアの養成は続けてほしい。若い方にも傾聴を学んでいただき、地域のゲートキーパーとして参加していけば、つながりができ、見守りにつながっていくのではと考える。	岩手県では包括的な自殺対策の一環としてゲートキーパー、傾聴ボランティア等の人材育成に力を入れていません。地域、職域へ傾聴のスキルを伝えることは重要であり、傾聴ボランティアなどの育成を通じ、住民一人ひとりが周囲の方のこころの不調に気づき、お互いに見守りながら、地域で支え合う取組を推進します。	C(趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
91	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	誰もが気軽に楽しめるスポーツ機会の創出とあるが、いわてサイクルステーションの取組を盛り込むとか、みちのく潮風トレイルの活用を盛り込むなどをしてもらえれば。実際に来ることで復興の様子がわかり、地元の経済もうまくいくのでは。	沿岸圏域では、御意見にあったいわてサイクルステーションやみちのく潮風トレイルが整備され、スポーツアクティビティの取組が進められています。このことを踏まえ、第2期地域振興プランでは、取組方向に「スポーツとの多様な関わり方を広げる」ことや「スポーツ施設やスポーツイベントなどの資源を活用し、スポーツツーリズムを推進」することを盛り込み、県内外との交流人口拡大による地域振興を推進することとしています。	C (趣旨同一)
92	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	沿岸各地の住民がスポーツに関心を持ち、気軽に参画可能な環境を整備していくためには、各地域で競技人口が多い、または各大会で実績のある協議の大会を沿岸地区に誘致し、地域一体となって協賛・支援することが必要である。	交流人口の拡大に向け、スポーツ施設を活用した沿岸圏域でのスポーツイベントの開催やスポーツ合宿の誘致などによる地域振興への取組が重要であることから、取組方向に「スポーツ施設やスポーツイベントなどの資源を活用」することを盛り込み、圏域内のスポーツイベントなどの支援やスポーツ情報の総合的な発信に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
93	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	子供から高齢者まで幅広い年齢層の健康寿命を延ばすために、ランニング・ウォーキングへの距離をポイント化し、その実績に応じたインセンティブ付与等により参加促進を図るなどの企画も有効であると思われる。	スポーツによる地域づくりを進めていくためには、世代を超えて誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の創出が重要であることから、第2期地域振興プランでは、取組方向に「住民のスポーツ活動への積極的な参加により、健康増進や生きがいづくりを推進」することを盛り込んでいます。 御意見のあったランニング・ウォーキングのポイント化によるインセンティブ付与については、今後の取組の推進に当たって参考とさせていただきます。	D (参考)
94	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	地域住民のスポーツを楽しむ環境の向上に取り組むことに加え、スポーツの持つ多面的機能を生かし、地域活性化につなげる施策は、非常に有効だと感じる。特にスポーツツーリズムは、各自治体で積極的に取り組むことが必要と考える。	沿岸圏域ではスポーツが地域に活力を与える土壌が形成されていることから、これらの強みをスポーツ振興や地域づくりに生かしていくことが必要と考えており、取組方向に「スポーツ施設やスポーツイベントなどの資源を活用し、スポーツツーリズムの推進」を盛り込み、スポーツを活用した地域活性化に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
95	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	当市で策定したスポーツ推進計画と連動しており、県・市で連携が図れると思われれます。「健康増進や生きがいづくりを推進する」記載がありますが、当市においても、どのように取り組んでいくかが課題となっており、具体的な事項についてお示しいただけると、更なる連携や共有が図れると思います。	世代を超えて誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の創出が必要との認識から、取組方向に「住民のスポーツ活動への積極的な参加による健康増進や生きがいづくりの推進」を盛り込んだところです。今後、具体的な取組を検討していきますが、その際には、市町村とも連携して進めていきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
96	沿岸広域振興圏	Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域	重点施策項目8	②教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進	ラグビーワールドカップ2019で得られた成果の内容からの地域振興が気になります。	ラグビーワールドカップ2019TM釜石開催においては、国内はもとより世界から多くの観客が訪れていただき、地元食材を活用したおもてなしなどとともに、復興支援の感謝と復興に取り組む姿を発信することができました。 また、釜石が国際的なスポーツ大会や合宿の受入先などとして、国内外に大きくアピールでき、ラグビー女子日本代表の合宿受入や試合の開催等につながったほか、地域のトッププロチームである釜石シーウェイブスとの連携によるスポーツ教室の開催など、ラグビー競技や整備された施設を生かした地域振興の取組が進んできているところです。 今後も、スポーツの力を真の復興、地域振興に結び付けていく取組を進めていきます。	F(その他)
97	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目9	②最新技術の活用や経営革新などによる水産加工業をはじめとするものづくり産業等の企業経営力の強化 ③三陸地域の産業を担う人材の育成	政策推進プランにおいては、「中小企業者に係る事業承継の促進」が盛り込まれているが、地域振興プラン(沿岸広域振興圏)には盛り込まれていない。少子高齢化や人口減少などによって、商工業者をはじめ、各種産業では事業の継続が難しくなっており、このことが地域の衰退につながるものが危惧されている。このため、事業承継について、明確にプランに位置付けることが必要と考える。	事業承継については、地域説明会資料には記載できませんでしたが、経営者の高齢化が全国平均を上回って進行し、開業率は廃業率を下回っている状況であるため、円滑な事業承継を計画的に進めることが大事であることから、地域振興プラン本文の「県が取り組む具体的な推進方策」に「地域産業を維持・拡大するため、特徴的な技術や優れた生産能力を持つ企業の円滑な事業承継を支援する」ことを盛り込んでいます。	C(趣旨同一)
98	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目10	①学生へのキャリア教育等による若者の定着促進	地元で仕事をしている方を呼んで、5～10分程度で子どもたちが質問する取組を行っている小学校がある。小さいころから地元こういう企業があることを理解してもらうのにはいい取組と思うので、参考にしてほしい。	キャリア教育については、若者の地元への就職意識を高めることが必要であることから、「県が取り組む具体的な推進方策」に「小中高生を対象に企業見学会や出前授業を行い、職業別のライフプランについて情報提供する」ことを盛り込み、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育により仕事や産業、地元企業への理解促進に取り組むこととしています。 御意見の取組については、今後の取組の推進に当たって参考とさせていただきます。	D(参考)
99	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目10	②U・ターン、起業支援などによる移住・定住の促進	移住・定住への関心が高まっているのを肌感覚で感じているが、来たい人がいても希望に沿う住まいがないことがあった。住宅施策の部分でも県として力を入れてほしい。	移住や定住を希望する方の住まいについては、移住を検討する際には仕事とともに住まいや暮らしのイメージも重要な要素であり、移住前の現地訪問の促進や移住後の住まいへの支援に取り組むことが重要と考えています。 そのため、県では、政策推進プランの「県が取り組む具体的な推進方策」に「本県への移住・定住を促進するため、県営住宅のストックを活用し、移住希望者や若者などが安心して生活できる環境を提供する」ことを盛り込むとともに、地域振興プランにおいても、暮らしや移住・定住イベント等の情報提供を行うことを盛り込みました。 今後、市町村と連携して、若者や移住者などの空き家住宅の取得等に対する支援や情報提供に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
100	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目11	①漁業の生産量回復・生産性向上	アカモクの商品化を目指している。海には当たり前にあると思っていたが、今年は確保できなかった。何とか商品化にこぎつけたいと思っている。	水産物の付加価値向上については、推進方針に「漁業者や漁協女性部などによる6次産業化」や「地域水産物のPRやブランド化」などを盛り込み、引き続き取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
101	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目11	①漁業の生産量回復・生産性向上	県北広域振興圏においては、漁業資源が増加しているマイワシについての漁業の導入についての記載があるが、県北圏ではほとんど実績がなく、むしろ沿岸圏での取組が主体と言えるのに沿岸圏にはその記載がない。記載するかどうかも含めて県北圏と調整した方が良い。県北圏では、「燃油・資材の高騰」、「磯焼けからの藻場再生」への取組の必要性を謳っているが、沿岸圏でも共通の現状・課題ではないか。沿岸圏の記載内容は、全般的に県北圏と比べて具体性がなく分かりにくい感じがする。県北圏より記載量が少ない。	マイワシに関する漁業の導入については、取組方向に盛り込んでいる「適正な資源管理」等に取り組み、水産資源の「持続的な利用」を図っていくなかで進めていくこととしています。 「燃油・資材の高騰」について、現在も取り組んでいる課題であることから、現状と課題に盛り込みました。 また、「磯焼けからの藻場再生」については、「アワビ等の餌対策」や「藻場の造成」の表現としているところです。	B (一部反映)
102	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目11	②漁業担い手の確保・育成	漁業の就労希望者の受入れをしているが、なかなか根付かないところ。漁業者自身も考えていけないところ。	新規漁業就業者の確保・育成については、推進方針に「漁業就業希望者の掘り起こしや新規漁業就業者の育成」や「いわて水産アカデミーを核とした人材養成」を盛り込み、引き続き取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
103	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目11	③水産物の付加価値向上・販路拡大	ECと記載があるが、「Electric Commerce」のことか。わかりやすく説明を入れた方が良い。「ネットショッピング」「通信販売」と。県北圏では説明を入れている。「新たな交通ネットワークの活用」とあるが、三陸道は完成しているし、「新たな」とは何か不明。具体的に「三陸自動車道などの交通ネットワークの活用」としてはどうか。ただし、「交通ネットワークによる販路開拓」とは具体的に何の販路開拓を目指すのか分かりにくい。数時間の短縮が販路開拓にどのように寄与するのか。	「EC」の説明は、地域振興プラン素案では、文中の初出となる「振興施策の基本方向」の本文中にかっこ書きで記載していたところですが、御意見を踏まえ、初出ページに脚注を加えました。 また、「新たな交通ネットワーク」を具体的に表現するため、「三陸沿岸道路等の新たな交通ネットワーク」に表現を変更しました。 「新たな交通ネットワークによる販路開拓」については、輸送時間の短縮等を活かした高鮮度流通の拡大や消費地ニーズの多様化への対応など、販路開拓を促進していきます。	B (一部反映)
104	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目12	①地域農業を担う経営体の育成	農家の経営力向上やスマート農業、新規担い手の確保は必要なので進めてほしい。	地域農業を担う経営体の育成には、経営力向上やスマート農業の普及、新規就農者の確保が重要であることから、取組方向に「地域農業を担う経営体の育成」を盛り込み、経営体の経営改善、スマート農業技術の導入促進、就農相談会の開催等に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
105	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目12	②地域特性を生かした農畜産物の産地力向上	有機農業をしているが病虫害が多く、収量が落ちたりして不安定な部分があり、食糧自給率を下げってしまうギャップを感じる。これから有機農業をやりたい人や地域がスムーズに取りかかることができるような体制を作っておくことが必要では。	有機農業など環境への負荷を低減した農業生産の推進については、政策推進プランに「安全・安心な産地づくりの推進」を盛り込むなど、県として、環境負荷低減技術の導入や化学肥料の使用量低減を推進することとしており、御意見の有機農業の推進体制の構築については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
106	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目12	③地域の農林水産物を生かした6次産業化や集落活動への支援	インボイスが始まることで、産直をやめてしまう方がいそう。誘客力よりも前に担い手が厳しくなってくるのでは。	地域農業の活性化には、産直出荷者なども含めた、地域農業を支える多様な担い手を確保・育成することが重要であることから、取組方向に「地域農業を担う経営体の育成」を盛り込み、経営体の経営改善、就農相談会や農業入門塾の開催等により担い手の支援に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
107	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目13	①意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備	岩手県内では沿岸・県北地域において特に自伐型林業が普及していることから、林業振興のために政策推進プランの中に自伐型林業を位置付け、支援してはどうか。	林業経営体の育成については、計画的な森林整備に向け、林業就業者の確保や林業技能者の養成などの取組を進めているところであり、引き続き、林業の多様な担い手の確保を支援していきます。	C(趣旨同一)
108	沿岸広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目15	①新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化	道路はどのような道路ができてきたかが大事。例えば、道路はできたがトレーラーが自由に曲がれないなど、整備の状況によって入る港が選ばれてしまう。	沿岸圏域の産業競争力を強化するため、内陸部と港湾を結ぶ、宮古盛岡横断道路の整備を促進するとともに、一般国道107号白石峠の整備など、物流の基盤となる道路整備の推進と活用を図ることとしており、いただいた御意見は、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。	D(参考)
109	沿岸広域振興圏		その他		プランにはたくさん盛り込むよりはもう少し絞って、今回はこれを達成したということが分かるようにした方がよいのでは。ここはどこにも負けないというものを取り入れられれば。	アクションプランは長期ビジョンに掲げた「目指す姿」の実現に向けた実効性を確保するために、長期ビジョンにある取組方向についての重点的・優先的に取り組む施策やその具体的な推進方策を明らかにするものとなっています。 第2期地域振興プランにおいては、各広域振興圏でも政策推進プランにおける4つの重点事項について重点的な施策展開を図ることとしており、御意見の趣旨も踏まえ、今後の施策展開を進めていきます。	D(参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
110	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	Uターンでどの年代の方が一番戻ってきそうなのかというリサーチをされたのか。どこにアプローチをかけて戻ってくる取組をするのかというところは、まだ何となく漠然としていると感じる。4年間でこのぐらい増やすという数値目標を基に、どのぐらいの人数にアプローチをして、何%戻ってくると二戸地域の人口が何人増える、と考える必要があるのではないか。 ＜追加意見＞ Iターン、Uターンの数値に関しては、アンケート調査企業等を使いwebアンケートを実施したり、SNSでのアンケート調査を行うなど現在問合せをしてきていない潜在数がどのくらいあるかの把握が必要ではないか。	移住定住施策の実施に当たっては、委員御指摘のとおり、潜在的な移住希望者の把握やターゲット像の設定等が重要と考えており、今後、市町村とともに移住希望者の実態把握も考慮しながら、効果的な取組みについて検討していきます。	D(参考)
111	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	広告宣伝をする、多く広く知ってもらうという内容を盛り込んでいただきたい。	移住定住、U・Iターンの促進に向けては、この地域の魅力を広く情報発信し、認知度向上を図る取組が重要と考えていることから、県外に進学する地元の子どもたちに対し地元就職への意識づけを図る取組を進めるとともに、いただいた御意見を踏まえ検討していきます。 なお、地域振興プランには、「県及び市町村の支援制度や県北の魅力SNSにより発信」と具体的な内容に変更しました。	A(全部反映)
112	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	人口減少対策としてUターンにポイントを置くのであれば、今20代・30代・40代(Uターンをする世代を育て、働く世代)が生き生きと生活できることがとても大事なポイントではないか。	若者や親世代が生き生きと地域で暮らすためには、労働環境の改善、子育て支援等幅広い分野での取組が必要であり、第2期地域振興プランにおいても、関係団体等と連携し、これらに取り組むこととしています。	D(参考)
113	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	人口減少や所得格差という問題は、日本全国どこでも同じように直面している。そのなかで私たちがこの地域で生きていくには、やはり特色のあるものを増やさなければいけない。移住者は、全国でどこに移住するかということを本当に考えて選んできてくれている。選んでもらえる地域をつかっていくためには、特色のある、本当に戦っていくかたちをつくる必要があるのではないか。	県では、県北地域の特色ある資源を生かした産業振興や観光振興などに取り組むこととしています。この取組が多くの方々へのアプローチになり得るよう、引き続き、関係団体等と連携し展開していきます。	D(参考)
114	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	大企業がない市町村では、外貨を獲得できる、稼げる個人に移住してもらう必要があるのではないか。	いただいた御意見を参考に、U・Iターン等の情報提供など、市町村と連携しながら、多様な人材に来てもらえるような移住・定住の取組を検討していきます。	D(参考)
115	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	どんな街にしてどんな地域をつかっていくかということを含めて、個々の問題ではなくて、絵を描いて、この地域にどんな人材が必要で、どんな産業を興して、どんな人を呼び込むかということを選択する必要がある。それを入れて、振興プランに県北地域が発展していくような政策を載せていただきたい。	県では、県北地域の特色ある資源を生かした産業振興や観光振興などに取り組むこととしています。 今後も県北地域の多様で豊富な地域資源を生かし、県北地域の発展に向けて、関係団体等と連携し展開していきます。	C(趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
116	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目1	② 移住・定住の促進	人口減少は、社会の存続にも関わる問題なので、県と市町村がプロジェクトチームのようなものを作って一緒にやっていくという取組も必要ではないか。Uターンについて目に見えるような形で構築していくべきではないか。	人口減少対策の推進に当たっては、県と市町村、市町村間での連携、協働の取組を進めることが重要と考えており、プランに移住・定住の促進を盛り込んでいます。令和5年度から県及び市町村等をメンバーとする検討会を設置し、移住・定住の促進について検討を進め、地域経営推進費なども活用しながら取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
117	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目2	②世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」の価値の理解促進	県内の小中学生に、例えば、小学校4年生なら4年生が必ず教育旅行で訪れるという形を県の指導でやっていただきたいということを考えました。今までも来ていただいているが、それに輪をかけて、御所野遺跡の価値の理解促進等を図っていただきたい。	県としても次代を担う児童・生徒が世界遺産「御所野遺跡」の普遍的な価値を理解することが重要であると認識しており、県内の小中学校等へも教育旅行を働きかけるなど価値の理解促進を促していきます。	C (趣旨同一)
118	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目2	② 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」の価値の理解促進	プランでは、観光として御所野縄文遺跡が出ているが、観光面としてと、縄文遺跡の価値をどう認識してもらうか、その両面が本当はあると思う。そういった狙いははっきりさせて取り組むべきではないか。	御所野遺跡については、観光資源としての活用と価値の理解促進の両面の取組が重要であり、価値の理解促進に向けては、重点施策項目2の取組方向に、「世界遺産『北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)』の価値の理解促進」を掲げ、地域と連携しながら、その価値や重要性の理解促進に向けた取組や情報発信に取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
119	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目3	① 結婚支援・子育て家庭への支援	移住者誘致で課題になっているのが、アウェイ育児。核家族で移住してくるので、頼れる人がなくて、家族で移住してきても、旦那さんがいたとしても不安がある。ファミリーサポート等公の支援が必要になってくるのではないか。	妊娠期から子育て期までの総合相談窓口である市町村「子育て世代包括支援センター」では、子育てに関する不安や困りごとに対応しています。地域とのつながりが持てない、相談する場が見つからないなどの悩みは、同センターに先ずは相談いただき、相談内容や家族の実情等に応じて、ファミリーサポートや交流の場である子育て支援センターなどの対応に繋げていきます。	C (趣旨同一)
120	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目3	① 結婚支援・子育て家庭への支援	岩手県民計画の方向性はこれでいいと思う。問題は具体的に何をどうするかというところ。IターンとかUターンの子供たちが地元の企業をよく知るための取組や、結婚支援の話とか、市町村それぞれは、これまでやってきている。なかなか苦戦をしているので、市町村が何をやってきて、今振興局に何を担っていただきたいかというあたりは、コミュニケーション・情報をしっかり交換して取り組んでいかないと、前にあったようなことをまたやって、結果はやっぱり駄目だったというようにならないようにしていかなければならないと痛感している。	地域振興プランでは、市町村や“いきいき岩手”結婚サポートセンター等と連携し、出会いイベントの開催等、結婚を望む男女を支援することとしています。出会いイベント等の実施に当たっては、市町村等とともに、一体となって取組を進めていきます。	C (趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
121	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目3	② 高齢者を地域で支える地域包括ケアシステムの推進	県北地域で高齢化社会、豊かな高齢化社会を構築する、そうすることによって、モデルになる、日本全国が高齢化に向かう中で、モデル地区にもなり得るということなので、是非、県と市町村、一体となって、この高齢化社会をどのように豊かにしていくのかということについて取り組んでいくべきではないか。	県では、地域包括ケアのまちづくりを推進するため、市町村が行う介護予防や介護基盤の整備等を支援するとともに、医師、介護職員、リハビリテーション専門職等の多職種連携のための研修の実施や介護予防への医療従事者の参画の調整など、市町村単独では対応が難しい課題に取り組んでいます。 また、健康寿命の延伸に向けて、生活習慣の改善のための健康づくりに関する普及啓発や健康教育の実施、がん等の生活習慣病予防の取組など、生涯を通じた健康づくりの取組を推進しています。 今後においても、市町村と連携を図りながら、地域の実情に応じた健康づくりや地域包括ケアの取組を推進していきます。	C (趣旨同一)
122	県北広域振興圏	I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	重点施策項目3	③ 自殺対策の推進	男性の自殺者、特に40代の男性に対するアプローチが必要ではないか。ライフステージで状況が見えるところにはアプローチがしやすいが、経済的な不安を抱えているとか、働く世代で健康問題を抱えているとか、特に男性の方がどこかで何かしら寄り添うような場所が作りづらい現状が今あるのではないかと感じる。自然に特化した新しい保育園づくり、男性が関わってくるような地域の公民館事業など、スポ少やPTAを外した関係で関わっていくことも必要ではないか。	40代男性への対応については、現在、職域へのアプローチとして、商工会議所や事業所訪問、出前講座の実施などにより取組を進めているところです。 今後においても、様々なアプローチ方法等を検討し、市町村やボランティア等関係機関・団体と連携しながら、取組を推進していきます。	C (趣旨同一)
123	県北広域振興圏	II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域	重点施策項目4	① 洪水・土砂災害対策の推進	洪水、土砂災害対策の推進について、いずれ、現況復旧だけでは、また何年か後には必ず同じところが災害に遭うということで、出来れば、県でもその対策を講じていただきたい。	被災した公共土木施設について早期復旧に取り組むと共に、再度被災防止対策が必要な箇所については、洪水災害及び土砂災害等に対する安全度の向上を併せて推進します。	D (参考)
124	県北広域振興圏	II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域	重点施策項目7	① 太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入及び利活用の促進	県有施設内の再生可能エネルギーの導入は、現状はおそらく今ある再生可能エネルギーを買ってきて使われるということだと思いが、そういったところにも主体性を発揮できないか。電気を集めるところから、県がもっと踏み込んでいってもいいのではないかと感じる。久慈地域エネルギーや東京都の都庁電力プランなどベンチマークになるような施策もあると思うので、もう少し主体性のある具体的な対策をし、再生可能エネルギーを岩手県は一生懸命推進するんだという動きが見える施策を入れていただきたい。	県では再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでおり、現在県の率先的な取組として、久慈及び二戸地区合同庁舎へ再生可能エネルギー100%の電気を導入しています。今後は、県有施設への太陽光発電の導入等を行い、民間含め、地域の再生可能エネルギーの導入や利活用が促進されるように取り組んでいきます。	D (参考)
125	県北広域振興圏	II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域	重点施策項目7	① 太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入及び利活用の促進	再生可能エネルギーを推進する上で今困っていることが、送電網が非常に脆弱なこと。電源接続案件一括検討プロセスは1年ぐらいかかり、しかも、このプロセスをやっている最中は、電気を少し増やしたいと言っても検討すらしてもらえない。足元がしっかりしていない状況で旗だけ振っても、なかなか進んでいかない。そういう状況だということを御理解いただきたい。	再生可能エネルギーの導入促進には、送電網の強化が不可欠であり、これまでも機会を捉えて国に対し要望を行っているところですが、電力インフラが脆弱な東北地方等の地域は他地域との格差が生じている状況です。 こうした状況を踏まえ、県では引き続き国に対し送電網の強化を働きかけていきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
126	県北広域振興圏	Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域	重点施策項目2		御所野縄文公園への入込数について、内数としての県内小中学生の入込数の指標化について検討されたい。	御所野縄文公園への入込数については世代を問わない入込数を指標に定めることとしていますが、事業実施に当たっては、ご意見のあった小中学生の入込数を適切に把握し、より多くの児童・生徒の来訪につながるよう取り組んでいきます。	D(参考)
127	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目8	① 地域農業を担う経営感覚に優れた経営体の確保・育成	耕作放棄地が増えている。県北もそうだが、県域全体でそうだと思うので、農業担い手育成についても、県ももう少し力を入れてやっていただきたい。	県では、地域農業の核となる経営体の育成に向け、集落営農組織等の法人化や経営規模の拡大、農地の集積・集約化等による経営基盤の強化などに取り組むこととしています。 また、次代を担う新規就農者の確保・育成に向け、経営発展段階に応じた、生産技術・経営ノウハウの習得、機械・施設の整備等の取組を支援することとしています。	C(趣旨同一)
128	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目8	② 高度な生産技術の導入等による特色ある農畜産物の産地育成	町では、鶏糞を利用した炭化、それから、木質バイオマスで発電し供給しながら、施設を誘致しようというようなことで動いている。こうした地域のポテンシャルを活かした産業育成を県の方にも後押ししていただきたい。 特に農業の中で雇用が生まれるような、そういう産業の育成、振興をお願いしたい。	県では、収益性が高い農業を実現するため、革新的な技術の導入などを進めることとしており、スマート農業技術の普及に取り組むとともに、必要な機械・施設の整備を支援することとしています。	C(趣旨同一)
129	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目9		政策推進プラン60ページの、新たなJ-クレジットの創出等については、県北地域こそ積極的に取り組むべきものと考えられることから、地域振興プランにも明記されたい。	新たなJ-クレジットは全県的に取り組む事項であり、県北地域においても政策推進プランに基づき推進して行きます。	D(参考)
130	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目9		岩手県内では沿岸・県北地域において特に自伐型林業が普及していることから、林業振興のために政策推進プランの中に自伐型林業を位置付け、支援してはどうか。	自伐型林業については、地域の森林整備を支える担い手確保策のひとつとして、九戸村や一戸町が取り組んでいることから、県北広域振興局としては地域経営推進費を活用してその取組を支援しているところです。	D(参考)
131	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目10	② 漁業生産量の回復・生産性向上	「マイワシやサワラ等の漁業資源の増加している魚種を対象とした漁業の導入を検討します。」としている。県では既にマイワシ特採による試験操業を行い導入に向けて取り組まれているが、沿岸圏が主体であり、県北圏ではほとんど実績が出ていない。記載については、沿岸圏と調整した方が良い。また、サワラの漁業導入とはどのような漁業種類なのか示した方が良い。	マイワシの特別採捕許可による試験操業については、近年の海洋環境の変化によるスルメイカやサンマ等の漁獲量の減少に対応するために実施しているものです。 当圏域ではスルメイカを対象としたイカ釣り漁業が盛んな地域であり、マイワシ漁に必要な照明設備を有した船も多くあることから、引き続き導入を検討していくこととしています。 また、サワラの漁業導入については、当圏域の海況や漁船等の実態にあった漁獲方法を検討することとしています。	B(一部反映)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
132	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目10		「①漁業担い手の確保・育成」、「②漁業生産量の回復・生産性の向上」の項目順となっているが、沿岸圏では「①漁業生産量の回復・生産性の向上」、「②漁業担い手の確保・育成」の順となっている。県北圏では「担い手の確保」の重要度が一番高いということか。ちなみに、復興推進プランでは「漁業生産量の回復」「担い手の確保」の順となっている。	県北圏域では、一次産業全体で「担い手の確保・育成」に係る取組を重視しており、県北圏域の地域振興プランでは、農業及び林業の分野においても同様の構成としています。	F(その他)
133	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目10	① 漁業担い手の確保・育成	県南では、新しく漁業に就く方は船の購入費の助成等が結構あるという話を聞く。市町村単位でがんばらないといけない部分でもあるかもしれないが、そのような状況だと、岩手で漁業をやろうかとなったときに、みんな県南に行ってしまうのではないか。	県では、市町村や漁業関係団体と連携し、新規漁業就業者の将来的な独立を地域全体で支えていく仕組みづくりを推進することとしており、具体的な取組として、養殖漁場の再配分や中古資材等の斡旋支援などを進めることとしています。	F(その他)
134	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目12	① 企業の経営課題に応じた支援	何かのシステムを入れることで、業務を改善して、これまでより少ない人数で行えるようになる方法がたくさんあると思う。日本自体の人口が少ない中なので、「人を戻す」+「少ない人数で仕事を回す」という、両方をやらないといけないのではないか。	少子高齢化の進展により生産年齢人口が減少し、労働力が減少している中、U・Iターンの促進に取り組むとともに、企業の生産性を向上させる取組が重要と考えていることから、取組方向に「大学進学者等を対象としたU・Iターン就職の促進」と「企業の経営課題に応じた支援」を盛り込み、管内企業の認知度向上に関する情報発信のほか、トヨタ式改善の導入による生産性向上支援に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
135	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目13	③ 広域連携の強化及び情報発信による誘客の促進	岩手県には日本で一番多く縄文遺跡がある。縄文を理解してもらうために、県内にある縄文遺跡が一緒になって活動すべきではないか。それはやはり県、特に御所野縄文遺跡のある県北広域振興局の役割ではないかと思う。	県北広域振興局では、県北地域の縄文関連施設とも連携し、縄文遺跡等を展示している各地の歴史民俗資料館への周遊促進に努め、縄文文化の理解促進にも取り組んでいるところです。 御意見のあった県内各地の縄文遺跡が一体となった取組についても、今後の取組の参考とさせていただきます。	D(参考)
136	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目13	① 特色ある地域資源を活用した観光の振興	観光交流の部分では御所野の世界遺産、それから三陸沿道を生かし切つてという部分は、ほとんどコロナ禍で進んでなかったというように見える。これを取り返すような考え方で取り組んでいかなければと思う。	アフターコロナを見据えた御所野遺跡や三陸沿岸道路を活かした観光交流については、県北地域の観光資源の核となる世界遺産御所野遺跡を起点として、三陸沿岸道路や内陸との横断道路などの交通網を活かし、県北地域の多様な魅力を一体的に発信していくことが重要であることから、取組方向に「広域連携の強化及び情報発信」を盛り込み、県央圏域や八戸圏域などと連携し、誘客促進に取り組むこととしています。	C(趣旨同一)
137	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目14	② 関係機関との連携による若者の地元就職や職場定着の促進	U・Iターンについては、稼ぐ場所と賃金をお知らせする場がないと。こちらに来る方は、こういう仕事に就きたいというよりも、ここで安心して生活が送れるのかという不安があると思いますので、その不安を解消できるような、信用される地域になっていかないと、U・Iターンを呼び込むことはできないと思う。	U・Iターン就職の促進に向けては、管内企業の魅力を広く県内外の学生、求職者に発信していくことが重要と考えており、取組方向に「地元企業の認知度向上を目的とした情報発信」を盛り込み、大学進学者等を対象としたU・Iターン就職の促進に向け、関係機関と連携して取り組むこととしています。	C(趣旨同一)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
138	県北広域振興圏	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	重点施策項目14	② 関係機関との連携による若者の地元就職や職場定着の促進	若者が一度都会に出たいということは応援したいし、行ってみて地元の良さ、郷土愛に気づくこともある。また、地元で働きたいという子どもは多いと思う。そういった地元で働きたいという子どもたちの声に応えるためにも、様々な分野で、Uターンをしたい方の希望に応えられるような取組をしていただきたい。	Uターンの促進に向けては、管内企業の魅力を県内外の学生、求職者に対して発信していくことが重要と考えており、取組方向に「地元企業の認知度向上に向けた情報発信」を盛り込み、大学進学者等を対象としたU・Iターン就職の促進に関係機関と連携して、取り組むこととしています。	C (趣旨同一)
139	県北広域振興圏		その他		人口減少のことで、連携に頼るとするか、そこに加わって、一緒にやっていかなければというふうなことを強く思っている。 久慈市、洋野町、時には八戸市、これらが連携を深める中に我々がいて、そして先々の成果を得ていけるという形で取り組まなければ、普代村と隣の野田村だけでやっても成果が上がらないというのはそのとおりなので、より今まで以上にそこを強く踏まえた取組をいただいて、ぜひ一緒に成果を上げるようにしていただきたい。	人口減少対策の推進に当たっては、県と市町村が課題や方向性を共有し、取組を進めていくことが重要と考えており、取組方向に市町村との連携による移住定住の取組を盛り込むほか、結婚支援事業などについても市町村と一体となって取り組んでいくこととしています。	C (趣旨同一)
140	県北広域振興圏		その他		アクションプランの施策を展開するにあたっては情報共有というか連携を本当に密にしたい、して欲しいという思いがある。トップだけでなく職員合わせて組織として情報を密にして、施策を進める方がより効果的ではないか。 市町村は市民、町民のため、県は県民のため、県民は同じなので、皆が一致団結してやっていくように情報の共有というものをお願いしたい。	人口減少対策をはじめ、プランに掲げる様々な施策を推進していくためには、県と市町村との一層の連携強化が必要になります。このため県と市町村が課題や方向性を共有し、一体となって取組を進めていくこととしています。	D (参考)
141	県北広域振興圏		その他		所得格差について、復興特需がある中でまだ開きがあるわけだが、今後、更にこれが縮まっていくというふうにはこの計画では見えづらいのかなと思う。 せっかく三陸沿岸道路が通ったので、一市町村一つの、それぞれが事業をするんじゃなくて、まとまって事業をして企業誘致をしてみんなで対応していきましょうとか、そういった形を、一市町村一つというのじゃなくて、皆で連携して、連携の中で県がリーダーシップを取っていただければ、より財源的にもいいのではと思っている。	県北広域振興局では人口減少と所得格差を県北地域の重要課題としてとらえ、その課題に取り組むため「所得向上を目指した産業振興」のほか「若者や女性が活躍する地域づくり」及び「北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり」を3つの方針として定め地域振興プランを見直したところであり、市町村と一体となり、関係機関と連携しながらプランに掲げる取組を進めていきます。	D (参考)
142	県北広域振興圏		その他		縄文の人々は「ワンサード」(3分の1はまず自分のために、3分の1は自然のために、残りの3分の1が未来の子供たちのために)という素晴らしい考え方を持って生活していた。「ワンサード」という考え方は、本当はいろんな事業に取り入れられるのではないかな。	自然への感謝や未来の社会を見据えた「ワンサード」という考え方については、県としても、持続可能な社会の実現や、幸福を追究していくことができる地域社会の実現に向けた様々な分野の取組みを推進する上で大切な考え方の一つであると考えますので、いただいた御意見につきましては、今後の取組を推進する上で参考にさせていただきます。	D (参考)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
143	県北広域振興圏		その他		外国人研修生は全国の市町村にいる仲間とネットワークでつながっており、評判はすぐ広がる。彼らの勤務は長くて5年とか10年ではあるが、人口減少の中で仕事をつなげていくには必要な人材だし、これから戦略的に地域の人材を確保していくためには必要だと思う。彼らにとって、会社だけでなく、この地域が住みやすい場所なのか、暮らしていくのに不便なところがすぐ解決できる地域なのか、市町村と連携しながら取り扱う必要があるのではないか。	いただいた御意見を参考に、県と市町村が連携し、外国人研修生にとっても住みやすい地域づくりを推進していきます。	D(参考)
144	県北広域振興圏	その他	その他		担い手の確保・育成というのがあるが、農業でもプロイラーでも、何の仕事であっても、子どもを大学まで入れられるくらいの所得を確保する仕組みをつくらなければ、担い手は育たないと思うので、そのような仕組みづくりをお願いしたい。	県北広域振興局では人口減少と所得格差を県北圏域の重要な課題とし、その課題に取り組むため「所得向上を目指した産業振興」を方針の一つとして定め地域振興プランを見直したところであり、市町村や関係機関と一体となってプランに掲げる取組を進めていきます。	C(趣旨同一)
145	県北広域振興圏	その他	その他		県北圏域では、水産業なり畜産業なり、そういうところに力を入れてほしい。(今までも県からいろいろ面倒見てもらってるが)その辺も考えていただきたい。	県北広域振興局では、水産業や畜産業など県北圏域の主要な産業について一層の生産性向上、高付加価値化といった取組を進め、所得向上を目指した産業振興を図ることとしています。特に、近年の不漁対策として漁業生産量の回復などに取り組んでいきます。	C(趣旨同一)